

# ポーランド

2021年11月11日

海外調査部・ワルシャワ事務所

2020年の貿易は、輸出が前年比0.3%減にとどまる一方、輸入が4.8%減となったことから、貿易黒字は大幅に増加した。対内直接投資は微減となったが、電気自動車バッテリー分野の生産施設の拡張や設置、データセンターの設置などの動きが目立った。対日輸出・輸入はそれぞれ3.7%減、6.0%減とマイナスに転じた。日本からの投資は自動車関連分野で生産施設の拡張や設置が相次いだ。

## ■輸出入ともに減少、貿易黒字は大幅増加

2020年の貿易は、輸出が前年比0.3%減とほぼ横ばいの2,375億600万ユーロに対し、輸入は4.8%減の2,255億3,000万ユーロで、輸出に比べ減少幅が大きかったため、貿易収支は119億7,600万ユーロの黒字となり、前年の11億7,100万ユーロから大幅に増加した。

輸出を品目別にみると、最大品目である機械・輸送用機器（構成比37.4%）は、道路車両（9.6%）の前年比15.0%減が響き、2.0%減と減少した。その他、原料別製品（17.6%）が3.3%減、鉱物性燃料・潤滑油（1.5%）が29.3%減だった。一方、2番目に輸出額が大きかった雑製品（17.8%）はアパレル・衣料品・アクセサリ（3.3%）の18.8%増が牽引し、2.8%増となり、食料品および動物（11.4%）の5.6%増、化学工業製品（9.6%）の5.6%増とともに輸出全体を下支えした。

輸出を国・地域別にみると、全体の約7割強を占めるEU（構成比73.8%）は前年比0.4%減の微減となった。そのうち、ユーロ圏（57.9%）は0.3%増の微増で、最大の輸出先であるドイツ（28.9%）は3.9%増と好調だった。同国向けの最大輸出品目である機械・輸送用機器（36.3%）が、5.8%増と貢献した。さらに、その内訳をみると、道路車両（10.6%）が11.8%減と落ち込んだものの、電池および蓄電池・同部品（2.8%）の3.7倍に支えられた電気機械・同部品（9.6%）の32.3%増が牽引した。また、雑製品（23.5%）の6.4%増も寄与した。EUのうち、非ユーロ圏（15.9%）は3.0%減だった。ドイツに次ぐ主要な輸出先であるチェコ（5.8%）が5.0%減と減少し、ハンガリー（2.5%）も9.4%減と大きく落ち込んだ。

英国（5.7%）は4.5%減となったものの、輸出先として3位を維持した。食料品および動物（19.3%）が6.2%増と好調だったが、機械・輸送用機器（36.8%）の10.6%減、雑製品（14.8%）の8.5%減が響いた。

表1 ポーランドの主要品目別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送用機器	90,665	88,868	37.4	△2.0	86,283	81,273	36.0	△5.8
雑製品	41,068	42,208	17.8	2.8	31,434	32,965	14.6	4.9
原料別製品	43,232	41,795	17.6	△3.3	39,194	37,255	16.5	△4.9
食料品および動物	25,542	26,968	11.4	5.6	16,898	17,511	7.8	3.6
化学工業製品	21,627	22,841	9.6	5.6	32,058	33,013	14.6	3.0
飲料およびたばこ	4,634	5,262	2.2	13.6	1,834	2,088	0.9	13.9
食用に適さない原材料	5,337	5,148	2.2	△3.5	6,858	6,334	2.8	△7.6
鉱物性燃料・潤滑油	5,023	3,552	1.5	△29.3	17,893	11,885	5.3	△33.6
動植物性油脂およびろう	335	408	0.2	21.5	873	1,039	0.5	19.0
合計 (その他含む)	238,147	237,506	100.0	△0.3	236,976	225,530	100.0	△4.8

[注] EU 域外貿易は通関ベース、EU 域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。  
[出所] ポーランド中央統計局 (GUS)

EU域外で英国に次ぐ輸出先のロシア(3.0%)は3.7%減、続く米国(2.8%)は0.5%減の微減となった。中国(1.3%)は12.5%増で、機械・輸送用機器(38.4%)の27.8%増が大きく寄与した。

輸入を品目別にみると、最大品目である機械・輸送用機器(構成比36.0%)が、特に道路車両(8.0%)の前年比22.2%減が響き、好調だった電気機械・同部品(8.5%)の10.0%増、事務機器および自動データ処理機(3.1%)の17.3%増を打ち消し、5.8%減となった。一方、雑製品

(14.6%)の4.9%増、化学工業製品(14.6%)の3.0%増が、輸入全体の減少幅の抑制に寄与した。

輸入を国・地域別にみると、全体の5割強を占めるEU(構成比54.6%)が前年比6.0%減となった。中でも、最大の輸入元であるドイツ(21.8%)が5.0%減で、その他のEU加盟国からも軒並み減少した。

EU域外では、ドイツに次ぐ輸入相手国である中国(14.5%)が12.1%増と前年に引き続き好調だった。最大輸入品目の機械・輸送用機器(54.6%)が16.1%増と、中国からの輸入を牽引した。一方、ロシア(4.5%)は鉱物性燃料・潤滑油(63.5%)の30.1%減が響き、29.6%減と大幅に減少した。また、米国(3.1%)は、機械・輸送用機器(45.0%)の18.4%減が大きく響き、化学工業製品(24.3%)の46.6%増、中でもワクチンなどを含む医薬品(12.4%)の2.8倍を打ち消し、8.0%減となった。

2021年上半期の貿易は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による落ち込みからの力強い回復を見せた。輸出は前年同期比22.9%増、輸入は23.4%増だった。最大の輸出品目である機械・輸送用機器(構成比38.4%)は30.6%増と、輸出全体を押し上げた。

## ■電気自動車バッテリー分野への投資が好調、マイクロソフトも進出

ポーランド国立銀行によると、2020年の対内直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)は前年から微減となり、112億3,000万ユーロとなった。

2020年の主な対内投資案件をみると、自動車や電気自動車(EV)バッテリー分野の新規および拡張・追加の投資

表2 ポーランドの主要国・地域別輸出入

(単位:100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2019年	2020年	構成比	伸び率	2019年	2020年	構成比	伸び率
EU	175,996	175,317	73.8	△0.4	130,920	123,067	54.6	△6.0
ユーロ圏	137,044	137,521	57.9	0.3	109,227	103,035	45.7	△5.7
ドイツ	66,043	68,606	28.9	3.9	51,836	49,269	21.8	△5.0
フランス	13,948	13,321	5.6	△4.5	8,641	7,763	3.4	△10.2
イタリア	10,772	10,265	4.3	△4.7	11,920	11,247	5.0	△5.6
オランダ	10,428	10,071	4.2	△3.4	8,983	8,871	3.9	△1.3
スペイン	6,091	6,039	2.5	△0.9	5,473	4,975	2.2	△9.1
非ユーロ圏	38,952	37,797	15.9	△3.0	21,693	20,033	8.9	△7.7
チェコ	14,582	13,847	5.8	△5.0	7,895	7,128	3.2	△9.7
スウェーデン	6,663	6,946	2.9	4.2	4,153	3,622	1.6	△12.8
ハンガリー	6,572	5,957	2.5	△9.4	3,906	3,586	1.6	△8.2
英国	14,244	13,598	5.7	△4.5	5,415	4,756	2.1	△12.2
スイス	2,160	2,475	1.0	14.6	1,732	1,990	0.9	14.9
アジア大洋州	7,223	7,758	3.3	7.4	49,417	53,694	23.8	8.7
中国	2,649	2,979	1.3	12.5	29,254	32,803	14.5	12.1
ASEAN	1,317	1,366	0.6	3.8	6,610	7,422	3.3	12.3
オーストラリア	638	821	0.3	28.7	547	280	0.1	△48.8
韓国	622	649	0.3	4.3	5,021	5,415	2.4	7.8
日本	669	645	0.3	△3.7	4,496	4,227	1.9	△6.0
インド	650	555	0.2	△14.6	1,900	1,852	0.8	△2.5
ロシア	7,431	7,158	3.0	△3.7	14,454	10,170	4.5	△29.6
米国	6,766	6,730	2.8	△0.5	7,645	7,031	3.1	△8.0
ウクライナ	4,974	5,263	2.2	5.8	2,723	2,587	1.1	△5.0
トルコ	1,938	2,234	0.9	15.3	3,917	3,970	1.8	1.4
中南米	1,572	1,452	0.6	△7.6	2,837	2,627	1.2	△7.4
ブラジル	400	391	0.2	△2.3	1,458	1,241	0.6	△14.9
合計(その他含む)	238,147	237,506	100.0	△0.3	236,976	225,530	100.0	△4.8

[注]①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

②アジア大洋州は、ASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港および台湾を加えた合計値。

[出所]ポーランド中央統計局(GUS)

表3 ポーランドの対内・対外直接投資  
(国際収支ベース、ネット、フロー)

(単位:100万ユーロ)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
対内直接投資額	16,639	10,182	14,805	12,805	11,230
対外直接投資額	12,813	3,431	1,951	4,267	3,843

[出所]ポーランド国立銀行(NBP)

表4 ポーランドの主な対内直接投資案件(2020年~2021年3月)

<M&A以外>					
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
IT	マイクロソフト	米国	2020年5月	10億ドル	中・東欧で初のデータセンター開設を発表。人材育成、ローカルパートナーシップ、デジタルトランスフォーメーション(DX)のサポート、最新のクラウドテクノロジーへの投資を組み合わせ「ポーランドのデジタルバレー」の発展を後押しする。
電池素材	SKアイイーテクノロジー	韓国	2021年3月	1兆1,300億ウォン	南部シロンスク県ドンプロバ・グルニャに、EV用リチウムイオン電池のセパレーター工場を拡張すると発表。2023年末までに完成予定。
電池素材	ユミコア	ベルギー	2020年2月	6億6,000万ユーロ	南西部オボレ県ラジコピツェでEV用リチウムイオン電池の正極活物質製造工場の建設に着手したことを発表。生産は2021年末に開始予定。約400人が新工場で雇用される見込み。
自動車	グループPSA(現ステランティス)	フランス	2020年12月	7億5,500万ズロチ	グループPSAの子会社FCAポーランドはシロンスク県ティヒ工場の拡張と近代化を発表。ジープ、フィアット、アルファロメオの電動およびハイブリッド車両を2022年第2四半期から生産予定。
IT	グーグル	米国	2021年4月	非公表	クラウドサービスに対応するため、ワルシャワにデータセンターを開設したことを発表。中・東欧のグーグルクラウド利用者にクラウドベースのより充実したサービスを提供する。

<M&A>							
業種	被買収企業(事業)		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍	国籍			
情報通信	プレイ・コミュニケーションズ	イリアド	フランス	フランス	2020年11月	96億ズロチ	フランスの情報通信企業であるイリアドは、ポーランドのプレイ・コミュニケーションズの株式96.66%の取得を完了。同買収を通じ、ポーランドの固定電話市場および携帯電話市場へ参入する。
その他(決済サービス)	ボルスキー・eプラトノシチ	ネット	デンマーク	デンマーク	2020年10月	18億ズロチ以上	デンマークの決済サービス企業ネットは、ポーランドの同業であるボルスキー・eプラトノシチ(PeP)の買収を完了。ネット・グループの欧州市場拡大を狙う。
小売	テスコポーランド	サリンググループ	デンマーク	デンマーク	2020年6月	9億ズロチ	デンマーク小売大手のサリンググループは、英スーパーマーケット大手のテスコのポーランド事業を買収すると発表。これにより、テスコはポーランドから撤退し、チェコ、ハンガリー、スロバキアでの事業に注力する。
建設	ダンウォード	GSエンジニアリング・アンド・コンストラクション	韓国	韓国	2020年1月	1億4,000万ユーロ	韓国の建設・エネルギー・インフラ企業であるGSエンジニアリング・アンド・コンストラクション(LGの子会社)は、ポーランドの建設会社であるダンウォードの買収を完了。
運輸	ベカエス	ジオデイス	フランス	フランス	2021年2月	非公表	フランスの運輸会社であるジオデイスは、ポーランドの同業であるベカエスの買収を完了。買収により、ドイツおよび中・東欧での業務拡大を狙う。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表5 ポーランドの主な対外直接投資案件(2020年~2021年4月)

<M&A以外>						
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要	
食品製造	VICIポーランド	ドイツ	2020年6月	1,800万ユーロ	主にアジア向けの食品製造を行うVICIがドイツのメクレンブルク・フォアポンメルン州に同州などの支援を受け工場を新設すると発表。110人を新規雇用予定。	
不動産	スカリエル	ルーマニア	2020年11月	非公表	ルーマニア国内に2022年までにショッピングモール計6カ所(総面積4万㎡)を建設すると発表。2021年末までに3カ所の営業を開始予定。	
小売	エオブヴィエ・ビーエル	ルーマニア	2021年4月	非公表	ルーマニアに靴の配送センターを開設すると発表。ルーマニア、ブルガリア、ギリシャなどでのオンライン販売拡大を目指す。	

  

<M&A>						
業種	被買収企業(事業)			時期	投資額	概要
	買収企業企業名	企業名	国籍			
セルビータ	製薬	フィデルタ	クロアチア	2021年1月	3,120万ユーロ	世界中のバイオテクノロジー企業や製薬企業に代わって、統合創業の分野でサービスを提供するフィデルタの買収を完了した。
ベカベクス・フンフシュ・エクスパンスイ・ザグラニチネイ	建築資材	FTOフェアティッヒタイトルルベルク・オーベルマイン	ドイツ	2020年12月	1,225万ユーロ	建設用コンクリート製品製造業であるドイツのFTOフェアティッヒタイトルルベルク・オーベルマインの買収を完了した。堅調なドイツ市場でのビジネス拡大を目指す。
ルマ・オートメーション	金融	アイロンテック	ハンガリー	2021年2月	非公表	自動車関連企業への投資を行うルマ・オートメーションは、主に自動車および鉄道産業向け精密機械加工金属部品を製造するアイロンテックの買収を完了した。

[出所] 各社発表および報道などから作成

が好調だった。ベルギーのユミコアは2020年2月、欧州における初のリチウムイオンバッテリー用正極活物質の工場の建設着手を発表した。5月には、米国のマイクロソフトが10億ドルを投資し、中・東欧で初のデータセンターを開設することを発表した。

ポーランド投資・貿易庁(PAIH)が支援し実現した2020年の対内投資案件は49件だった。企業が申告した投資予定額は合計22億8,601万ユーロに上る。国別では、米国12件、日本7件、ベラルーシ

7件、ドイツ4件、中国4件、韓国3件、英国3件、イタリア2件、スウェーデン2件の順に多かった。分野別では、自動車8件、ビジネスサポートセンター8件（IT6件、シェアードサービスセンター2件）、食品4件、医療3件、研究開発（R&D）2件、EV2件となった。投資額では、米国が最大で、韓国が続いた。

2020年の対外直接投資は38億4,300万ユーロとなり、前年比で9.9%減となった。不動産開発・管理業のスカリエールは2020年11月、ルーマニアにショッピングモール6カ所を建設する計画を発表した。ポーランド最大のオンライン靴販売を手掛けるエオブヴィエ・ピーエルは2021年4月、ルーマニアに靴の配送センターを開設すると発表した。

## ■対日貿易も輸出・輸入ともに減少

2020年の対日貿易は、輸出が前年比3.7%減の6億4,500万ユーロ、輸入が6.0%減の42億2,700万ユーロとなり、輸出入ともに減少した。貿易赤字は前年の38億2,700万ユーロから、35億8,200万ユーロに縮小した。

対日輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である機械・輸送用機器（構成比52.4%）が前年比3.7%増となったが、続く原料別製品（15.0%）が14.4%減、雑製品（11.9%）が6.3%減と振るわず、さらに化学工業製品（6.7%）の30.2%減が抑制要因となった。

対日輸入を品目別にみると、最大の輸入品目である機械・輸送用機器（構成比49.8%）が前年比12.7%減と大きく減少した。

表6 ポーランドの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	326	338	52.4	3.7	機械類・輸送用機器	2,413	2,107	49.8	△ 12.7
原料別製品	113	97	15.0	△ 14.4	雑製品	1,080	972	23.0	△ 10.0
雑製品	82	77	11.9	△ 6.3	化学工業製品	667	794	18.8	19.1
食料品および動物	56	55	8.5	△ 3.2	原料別製品	220	248	5.9	12.7
化学工業製品	62	43	6.7	△ 30.2	食用に適さない原材料	100	90	2.1	△ 10.5
食用に適さない原材料	28	32	5.0	15.5	その他	9	9	0.2	6.6
飲料およびたばこ	1	2	0.2	21.7	食料品および動物	3	4	0.1	7.1
合計 (その他含む)	669	645	100.0	△ 3.7	合計 (その他含む)	4,496	4,227	100.0	△ 6.0

〔出所〕ポーランド中央統計局 (GUS)

中でも、乗用車（15.8%）の22.4%減、自動車部品（2.8%）の17.8%減が響いた。一方、3番目に輸入額が大きい化学工業製品（18.8%）は19.1%増と好調だった。

## ■日本企業は自動車関連の投資を拡大

2020年の日本からの主な投資案件をみると、自動車分野の投資が中心となった。トヨタ・モーター・マニュファクチャリング・ポーランドは6月、4億ズロチを投じて南西部ドルノシロンスク県イエルチ・ラスコビツェ工場で1.5リットル・ガソリンエンジンの製造ラインの稼働を開始した。エンジンは同社の「ヤリス」や「ヤリスクロス」に搭載される。なお、2021年4月から同県内のバウブジフ工場と同モデル用のトランスミッションの製造が開始された。事業拡大に伴い最終的に2つの工場で約3,000人を採用する予定。南部マウォポルスカ県のポーランドマブチは2020年10月、自動車電装機器用小型モーターの量産を開始した。また、住友化学は2021年2月、中西部ビエルコポルスカ県ポズナニに主に自動車のバンパーや内装材、家電製品に利用されるポリプロピレンコンパウンドの事業強化のための生産拠点開設を発表した。2022年春に商業運転を開始する見込み。

## 主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：3,827万人（2020年）			
②面積：32万2,719km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：1万5,654米ドル （2020年、推計値）			
④実質GDP成長率（%）	5.4	4.7	△ 2.7
⑤消費者物価上昇率（%）	1.6	2.3	3.4
⑥失業率（%）	5.8	5.2	6.2
⑦貿易収支（100万ユーロ）	△ 6,219	1,204	12,392
⑧経常収支（100万ユーロ）	△ 6,518	2,611	18,105
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	111,656	117,196	140,316
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	316,682	315,659	303,711
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ズロチ、期中平均）	3.61	3.84	3.90

〔注〕 ⑦⑧：国際収支ベース、⑦：財のみ  
 〔出所〕 ①②④⑤⑥：ポーランド中央統計局（GUS）、③⑨⑩：IMF、⑦⑧⑩：ポーランド国立銀行（NBP）

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp